

## 事業報告書（令和 6 年度）

事業名 親と子の学べるアソビバ～未来をみつめて～

団体名 aSoViva～アソビバ～

担当者名 小倉 麻衣子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

#### A. 子どもフリマ出店

2024 年 7 月 6 日（土）10：00～14：00

あちてらす倉敷 小学生 17 名 未就学児 2 名

3 月から 7 月までの間に計 5 回集まり、「お金について」学び、実践の場としてフリマ出店を行った。自分たちでお店の看板づくり、レイアウト、値段設定など協力して行った。

#### B. 第 1 回子ども料理教室

2024 年 7 月 26 日（金）10：00～14：00

倉敷健康福祉プラザ調理室 小学生 23 人 未就学児 2 名（＋大人）

子どもたちだけでいちからうどんを手作りをした。そして、スポーツ栄養アドバイザーの講師を招いて、保護者の方に向けて栄養講座を開催した。出来上がったうどんは、子どもたちから保護者の方に食べてもらう夏休みならではの企画となった。

#### C. 子どもの集い場（協働：ぬるま湯）

2024 年 8 月 2 日、9 日、23 日 10:00～15:00

岡山市北区辰巳 むるま湯キッチン 各回小学生中学生計 15 名程度

他団体と協働し、夏休み期間中に、学習支援や食事支援など子どもが集う場所の提供を行った。

#### D. 子ども縁日出店

2024 年 10 月 5 日（土）10:00～14：00

岡山市北区北長瀬 未来ふれあい総合公園 小学生 8 名、未就学児 2 名

子どものお仕事体験として、マルシェに出店した。縁日ブースを子どもたち主体で作り、実際に接客体験をした。

#### E. お絵かき教室で段ボールアート出品（協働：はじめのいっぽ、）

2025 年 1 月 29 日（水）15：20～16：50

倉敷健康福祉プラザ工芸室 小学生 13 人、未就学児 2 人

はじめのいっぽ、さんからお声がけいただき、2/20-26 の間、イコットニコットで開催する展覧会の催しもので使う段ボールアートの制作を参加の子どもたちで行った。

F. 第 2 回子ども料理教室

2025 年 2 月 7 日(金)17:30~20:00

倉敷健康福祉プラザ調理室 小学生 16 人 中学生 1 人 未就学児 2 名 (+大人)

自分で作れる晩御飯をテーマに、みんなで協力しておにぎらずを作ってみんなで食べた。

写真は別途添付

2. ESD の視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

料理教室は、子どもたちが自主的に楽しんで作ることができるテーマで行い、実際に保護者の方を招待して、自分が作ったものを食べてもらう経験を通して、自信をつけ、その後家庭でも学んだことを実践できた。また、グループで調理を行う中で、協調性を身につけたり、役割を担うことで責任感を持って取り組むことができた。

フリマ出店や縁日出店では、自分たちで作り上げたお店で堂々と接客する姿や、子どもたちで協力して試行錯誤する姿も見られた。働くことの楽しさと大変さ、お金の持つ力について実践を通して学んだ。

子どもの集い場では、学区を越えた出会いや、いろんな年代のボランティアスタッフとの関りの中で多くの学びがあり、食後の片付けなどを通して自主性を育むことができた。

② どのように学び合いを取り入れたか

他団体と協働することで相互の学びを共有した。

フリマ出店では、開催後にも振り返りの日を設け、全員が学んだことを報告し合った。

料理教室では、参加後のご家庭での変化などを保護者から教えてもらった。

SNS で開催報告をした。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

いろんな世代との関わりを重要視した。フリマや縁日出店では、他にもたくさんのブースが出店しており、働く大人の姿を見ることも学びとした。

料理教室では、また家でもやってみたい！と思えるような内容にこだわり、資料を配布した。いろんな学年の混合チームを作り、それぞれに役割を与え、積極的に参加できる環境を用意した。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

栄養教室開催後のアンケートや感想シェアでは、みんなで作るのが楽しい！家でもまたやってみたい！おうちの人に食べてもらいたい！という意見が多く、食べること作ることへの興味関心が増していると感じる。美味しく楽しく食べること、孤食を防ぐことは、健やかにイキイキと生きる上でとても大切なことだと思うので、食への興味が増すことは大きな成果だと感じる。

また、フリマや縁日での出店では、一から自分たちで考え、自分のお店を持つ体験を通して、自分で考え行動する力、失敗したときに立て直す力、コミュニケーションを通して相手に自分の想いを伝える力などを短期間の間に身につけた。

そして、子どもの居場所では、他学校の生徒、いろんな世代のボランティアスタッフ、小さな子どもとのかかわりの中で、他者を理解しようとする姿、協力する姿も見られた。

#### 4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

大人だけでなく子ども自らも、「食」を通して健やかな身体づくりに興味を持つことは、すべての人が健やかに生きていくきっかけとなり、健康寿命の延伸に繋がると考える。

また、フリマや縁日を通して、「働く」ことを体験し、いろんな職業の方と関わる機会を持つことができたのは、子どもたちが未来を描くきっかけになると考える。

「体験」は子どもたちが自信をもって積極的に物事に取り組む際の大きな武器になる。

aSoViva では、子どもたち、また大人も体験を通して学ぶ場をこれからも提供していきたい。今年度から aSoViva は畑活動をスタートさせており、赤ちゃんから年配の方まで集う場づくりをスタートさせている。

これまで通り、『食』『運動』『学業以外の学び』の 3 本柱で活動を継続し、地域の人との繋がりがりや、多世代の交流を行っていきたい。

## R6. aSoViva～アソビバ～ 活動報告写真



A.フリマ出店



A.フリマ出店



A.フリマ出店



A.フリマ出店



A.フリマ出店



A.フリマ出店



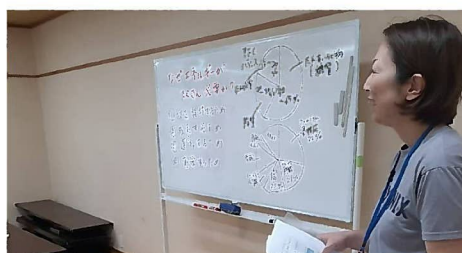
A.フリマ出店



A.フリマ出店



B.料理教室～うどん～



B.料理教室～うどん～



B.料理教室～うどん～



B.料理教室～うどん～



## R6. aSoViva～アソビバ～ 活動報告写真



B.料理教室～うどん～



B.料理教室～うどん～



B.料理教室～うどん～



C.子どもの集い場



C.子どもの集い場



C.子どもの集い場



C.子どもの集い場



C.子どもの集い場



C.子どもの集い場



C.子どもの集い場



## R6. aSoViva～アソビバ～ 活動報告写真



D.子ども縁日出店



D.子ども縁日出店



D.子ども縁日出店



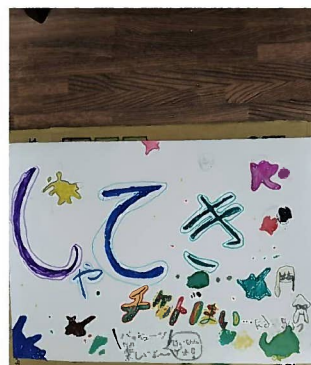
D.子ども縁日出店



D.子ども縁日出店



D.子ども縁日出店



D.子ども縁日出店



E.段ボール制作



E.段ボール制作



E.段ボール制作

## R6. aSoViva～アソビバ～ 活動報告写真



F.料理教室～おにぎらず～



F.料理教室～おにぎらず～



F.料理教室～おにぎらず～



F.料理教室～おにぎらず～



F.料理教室～おにぎらず～